

---

# 紳士と熟女のためのお伽噺 / 運命の女神

中村もへじ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紳士と熟女のためのお伽噺／運命の女神

### 【Nコード】

N5243U

### 【作者名】

中村もへじ

### 【あらすじ】

昔々ある所に一人の旅人がおったそうな。

今にも雨が降りそうな夕暮れ時、旅人は山の中を彷徨っておった。

## 起

昔々ある所に一人の旅人がおったそうなの。

今にも雨が降りそうな夕暮れ時、旅人は山の中を彷徨っておった。

間もなく雨がパラパラと降り出した。

すると、遠くの方に1つの小さな光が見えたんじゃ。

旅人が光に向かって歩いて行くと、そこには小さな屋敷が立っていた。

旅人は一日歩きっぱなしで大層疲れておったから迷わずその屋敷の戸を叩いた。

『道に迷った旅の者です。一晩宿を貸してもらえないでしょうか？』

戸は音もなくスルスルと開いた。

旅人はありがたいと中に入ったんじゃが、しんと静まりかえった屋敷の中は誰もおらんようじゃった。

『すみません。上がらせてもらいます』と、旅人はもう一度声をかけ、恐るおそる屋敷に一步踏み込んだ。

雨はいよいよ本格的に降り出し、ゴロゴロと雷まで鳴り出した。

家人のいない屋敷を勝手うろろするのは泥棒のする事と考えた旅人は屋敷に一歩踏み込んだ所で持っていた食べ物で空腹を満たし、持っていた敷物に包まってゴロリと横になり眠る事にした。

起（後書き）

サイト“へのへののもへじ／紳士と熟女のための挿絵のある童話”  
より、文章のみ（少々修正を加え）お引越しました

## 承

夜が更けた頃、旅人は人の気配を感じて目を開けたんじゃ。

すると障子の向こうに女の陰がうつっておった。

旅人がはっと起き上がると、旅人が起きた気配を察したのか女が凜とした声で問うてきた。

『そこにいるのは誰ぞ』

旅人は答えた。

『旅の者です。道に迷って雨に降られ勝手に上がりこんでしまったが、決してあやしい者ではありません』

そして旅人が障子を開けようとする、凜とした女の声が制する。

『開けてはならぬ』

『いやしかし、家人の留守中に勝手に屋敷に上がって休ませてもらっているというのに』

顔を見ずにはきちんとお礼を伝える事はできないというものです』

『なかなか礼儀正しいのであるな。しかし開けて驚く事なかれ。我は怖ろしいぞ』

『……怖ろしい？』

『そうじゃ。我と向き合つた者は足が震え胸が苦しくなり、倒れた  
り気がふれたりする者までおるのだぞ。』

それでも我の顔を見たいと申すのか。』

一瞬ひるんだ旅人であつたが、すぐに気を取り直した。  
どのぐらい怖ろしいか見てみたい気もしたのだ。

『いやいやそんな事は問題ない。戸を開けても良いだろうか？』

『そうまでいうのなら、勝手にするが良い』

障子の向こうで女がくすりと笑つたようだった。

承（後書き）

サイト“へのへののもへじ／紳士と熟女のための挿絵のある童話”  
より、文章のみ（少々修正を加え）お引越しました



## 転

旅人がガラリと音を立てて障子を開くと、女が後ろ向きに座っておった。

旅人は言った。

『こちらを向いて顔を見せてもらえないでしょうか？』

女は答える。

『最後にもう一度言うが見ない方が良いでしょう』

旅人はそれを聞いてしばし考え込んだ。

もし、女が本当にあばた顔であったならば、それは女にとっても悪い事をしているのではないかと。

女は旅人の心を見透かすように言う。

『思慮深いというのは良い事じゃ』

そして女は背中を向けたままくすりと笑ったようだった。

旅人は言った。

『どのような姿であっても決して怖がったりはいたしませんから、顔を見てきちんとお礼を言わせてはもらえないだろうか？』

女は、ほうと呟くところ言った。

『もし私の顔を見ても怖がらないのなら、我と一緒に旅に連れて行ってはくれないか？』

我は長い事をここにいて退屈しておったところなのじゃ』

そう言つて女は後ろ向きのまま旅人の方に手を差し出した。

旅人は物凄く醜悪な面構えの女人が始終自分の側にいる事を想像してそれは少しばかり愉快ではないなと思つた。  
だから女がここに留まるようにすすめるのじゃつた。

『いやしかし旅は女人には大変かと思ひます。』

無理な事はせんでここにおつた方が貴方様のためによろしいので  
は思ひます』

『そうか、ならば旅に連れて行つてくれなどとはもう言わぬ』

それから女は扇子をパラリと広げると顔を隠して目を瞑つたままゆ  
つくり振り返つた。

そして振り返つた女の美しさに旅人は腰がぬけるほどおつたまげた  
のじゃ。

旅人は取り繕うように話しかけた。

『貴方様はまるで天女のように美しいではありませんか。眼を開い  
て扇をずらしてしかと顔を見せてはくれませんか。』

いやいやそれより先程の話ですが、どうかワシと夫婦になつて一  
緒に旅にいつてもらえませんか』

それを聞いた女は

『調子のよい殿方だのう。我は好かん』  
というやいなや、くわつと眼を見開いた。

そして旅人は女の鋭い眼光を一目見ただけで心臓がぐつとつかまれ  
その場に倒れ込んでしまったのじゃ。

転（後書き）

サイト“へのへののもへじ／紳士と熟女のための挿絵のある童話”  
より、文章のみ（少々修正を加え）お引越しました

## 結

次の日の朝、旅人は古びたお堂の前で目を覚ました。

旅人がきよろきよると辺りを見渡していると、腰の曲がったじい様  
が通りかった。

『若い。そげな所でどないした？』

旅人は昨夜の出来事を村人の話すと、じい様は言ったんじゃ。

『それはきつと運命の神さんだのう』

『運命の神？それじゃワシは、あの時あの手を掴んでいたら運命を  
掴んだというのか？』

ああワシはなんて馬鹿なんだ。迷わず差し出された手を掴めばよ  
かった。

そうだ。もう一度ここに泊まって、もう一度運命の神に会えんか  
試してみよう。

もしもう一度運命の神に会う事が出来たなら、今度こそあの手を  
しっかり掴んで離したりしない』

と、お堂の方ばかり見て物いう旅人にじい様は笑って答えた。

『無理じゃろうな。今のお主は後悔の神さんに憑かれておる。

運命の神さんと後悔の神さんは昔から仲が悪いんじゃ』

『そうなのか？それじゃどうしたらもう一度あの運命の神に会える  
のだろうか？』

『そうじゃのう。運命の神さんもいうておつたが、礼儀正しく思慮深いのは良い事じゃ。』

お主のその心構えは変らんかったら、もう一度運命の神さんがまた姿を現すもしれんのう。

後は運命の神をつかむ機会を逃さない事じゃないかのう。

とはいえ一応神さんだからのう。無理に捕まえようとはせんほうがええじゃないかのう。』

『なるほど、無理に捕まえようとはしないで、共に歩ように心がけた方がいいという事か』

『まあそういう事なんじゃろうな。』

ついでに教えておいてやろう、運命の神はいつも同じ姿とは限らんのじゃ。

運命の神さんは気まぐれじゃからなのう。眼を開いてよく周りを見ておくんじゃぞ。』

旅人はそこまで話をきいて、おや？と思ったので、じい様をまじまじと見て聞いてみた。

『じいさん、いやに運命の神さんに詳しいな。さてはじいさんも運命の神のあつた事があるのかい？』

するとじい様はふおふおとしゃがれた声で笑うと、

よっこらしよと曲がった腰をしゃんとのばし、凜とした声でこう言うたのじゃ。

『息を飲むほど美しい女人の姿の時もあれば、誰も気にとめないよくなヨボヨボのじい様の姿の時もある』

その声は聞き間違う筈もない昨夜の女の声じゃった。

『じいさん、あんたはもしや・・・』  
と、言葉を捜す旅人に

『それでは御機嫌よう』  
というやいなや、瞬きひとつでじい様が昨夜の女の姿と重なってふ  
つと消えたのじゃ。

暫し呆然としていた旅人はふつと笑うと、道に沿って歩き出したの  
じゃ。

それから旅人は行く先々で姿を変えた運命の神さんを見かけたんじ  
やが、  
しかしそれが本当に運命の神さんじゃったかどうか神のみぞ知ると  
いう話なんじゃとぞ。

めでたしめでたし。

## 結（後書き）

サイト“へのへののもへじ／紳士と熟女のための挿絵のある童話”  
より、文章のみ（少々修正を加え）お引越しました



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5243u/>

---

紳士と熟女のためのお伽噺 / 運命の女神

2011年10月9日04時44分発行